

W i n d o w s N T 4 . 0 について

96年12月に日本でもWindows NT 4.0が発売となりました。ちょうど1年前のようなWindows 95のフィーバーはありませんでしたが、一部のパソコンユーザにとっては気になるOSの発売です。操作性が95に近くなったNT 4.0、これからのOSの選択としては、95なのかNT 4.0なのか、特集してみようと考えます。

そもそもWindows NTは、業務用アプリケーションを実行する上で、多少なりとも不安が低減できるように作られた32bit対応のOSで、それまでのMS-DOSの影響を受けていない、まったく新規作成されたOSです。そのためかNTとはNew Technologyの意味で、ハードウェアの依存部分を分離することによるアーキテクチャの実現、耐障害性の向上とセキュリティ機能を追加した新しいNTFSファイルシステムの採用、マルチプロセッサへの対応などがなされています。このような魅力あるOSであったNTでしたが、16MB以上のメモリを必要とし、動作が遅いなどなかなか受け入れられませんでした。しかし、昨年1月のNT 3.51の発売頃からメモリなどのH/Wコストが大変下がってきたり、MS-DOSの延長でしかないWindows 95の信頼性の不安などから注目されてきました。その中で発売されたのが今回のNT 4.0となります。

95の場合には、32bit (Win32) 対応のアプリケーションと16bit (Win16) 対応のアプリケーション、これまでのDOSのアプリケーションがそれぞれ異なった環境で実行されています。その中で、Win32のアプリケーションはそれぞれ個別のプロセス空間が確保されているため、完全なマルチタスクで万が一の場合にも他へ影響を与えることはありません。それに対してWin16のアプリケーションは1つのプロセス空間しかないため、万が一の場合は他のWin16のアプリケーションが動かなくなってしまう。また、DOSのプログラムはエミュレーション環境で動作します。このように、95は過去との互換性を重視した構造となっています。

それに対して、NT 4.0の場合は、マイクロカーネル技術をベースに各種OSサービスをサブシステムとして実装したクライアントサーバ形式として開発され、この事により、マルチプロセッサへの対応を行っています。アプリケーションの動作環境は完全に独立しているため、他のアプリケーションへ影響を与えることはありません。

あくまで個人向けであった95に対して、業務用であったNTですが、95とほぼ同じユーザインターフェースの採用、グラフィックパフォーマンスの向上、DirectXの採用など、各種パフォーマンスがアップし、95と同様に活用できるように成りました。アプリケーションの対応など一部残された問題はありますが、今後のOSの選択としては、特に業務用としては検討に入れなければならないようになってきています。

(情報誌トピックス)

○ 経 営 電 子 報 1 月 6 日 号

特集 NTバブルの危機

→登場から3年で部門システムに浸透し、基幹業務の分野でもメインフレームなどをリプレースする勢いのNTだが、そんなバラ色の世界ばかりではない。バージョンアップが激しく、稼働環境がシステムのライフサイクルが尽きるまで固定することは難しく、障害が発生してもこれまでのような迅速な対応は難しい。このままではNTはバブルになってしまい、崩壊をまねく。

特集 戦うシステムエンジニア

→顧客から信頼されるエンジニアとはどのように作られるか

トピックス 次世代インターフェースが登場

→USBとIEEE1394、普及は今夏以降

インターネットウィルス防止ソフトが続々

→海外ベンダが相次ぎ参入

○ 経 営 電 子 報 1 月 1 3 日 号

特集 次世代携帯電話はCDMAに決まり

→CDMA技術を使った携帯電話システムを世界が採用を始めている。日本も1998年に導入する。CDMAを採用すると3Mbit/秒のデータ通信が可能となる。

特集 「新・均質消費時代」のヒット商品

→多様化の果ての均質化、評判を勝ち得たものだけが生き残る。ぱっと売れて、すぐにしぼんでしまう消費状況において、各社が選んだヒット商品は。

解説 Microsoftのパソコン仕様PC97に難題

→次期Windows「Memphis」に対応したPC97だが、そのためのソフトウェアとLSIの開発は順調ではない

○ 経 営 電 子 報 新 春 特 別 (1 月 1 3 日) 号

特集 インターネットへの舵は切られた

マイクロソフト97年の製品戦略

→Office97とNT4.0を柱にすべてのアプリケーション製品がインターネット対応となる

レポート 17インチディスプレイ

7万円台からの高品位17インチ主要7機種を徹底評価

ニュース 96年パソコン業界10大ニュースを振り替える

急成長の中、97年も変化のうねりが続く

○ 経 営 電 子 報 1 月 号

特集 インターネットビジネス成功の法則

→インターネットを活用したビジネスの事業化に乗り出す企業が増えている

が、その条件と現状。インターネットの情報提供サービスの有料化とコンテンツ流通について

特集 着実に増える家庭からのアクセス

～インターネットアクティブユーザ調査～

→家庭からのアクセスが職場からのアクセスを超え、インターネットを使ったショッピング経験者は2割、有料のメール配信サービスを利用している人は15%を超えた

クローズアップ 97年のマルチメディアインフラ展望

→OCNとPHSデータ通信が拡大、衛星通信とCATVに注目

○ **経 済 情 報 シ ス テ ム** 1月号

特集 イン트라ネット=C/S+インターネット

ActiveXを中心に97年の新技術を検証する

→イントラネットはC/Sと対立するものではなく、企業情報システムに新たな広がりを見せている

オープンフロント インターネットをWAN構築の選択肢に、相互接続性と運用性に課題を残す

→暗号化とカプセル化でVPN(VirtualPrivateNetwork)を構築する

○ **P C W A V E** 2月号

特集 1997年・ギョ～カイはこうなる!

→通信、3D、モバイルコンピューティング、大容量メディアなど97年も大変動が予想されるコンピュータ業界の大胆予想

特集 多様化する「リムーバブルメディア」

→リムーバブル機器とは何かからその賢明な使い方を探る

○ **L A N T I M E** 2月号

特集 NT Workstation 4.0は最適なクライアントOSか

→NTのクライアント用OSであるWorkstation 4.0は他のクライアントOSから乗り換えるのに値するOSなのか